

はじめに

退職後七十才から趣味として始めた俳句で今口まで約十年の間に作りました句がそれなりの数となりました。その中から約四百句を選び、冊に纏めました。その多くが題名にも致しました「七十の手習ひ」の通りの幼い句ですが、これからも俳句を続けていくための一里塚としての句集と致しました。

八十路なる来し方行方願雲

なお、本句集は歳時記に従い、春・夏・秋・冬・新年に句を分類致しました。

俳句集

七十の手習ひ

松本 修



墨絵なす

富士新涼の

朝まだき



常盤木と

紅葉がなせる

綾錦

春

薫草の
古き庵や
花吹雪



夏

文化財なる
古民家に
若葉風



秋

新涼や
富士墨絵なす
朝まだき



冬

加賀の寺
芭蕉の句碑の
時雨れけり



新年

中言に
身の程を知る
初神籤



八十路来て残せし望み早祭

最後にこれまで俳句等の御指導をいただきました諸先生に厚く御礼申し上げます。

二〇一三年六月

松本 修

有限会社ワーズ 西野三和子社長、諏訪山玲似子様には一方ならぬご協力をいただきました。